

令和2年第4回区議会定例会（代表・一般）における主な質問について

1．議会日程等

会期：令和2年11月25日（水）～12月4日（金）

（1）代表質問 11月25日（水）・11月26日（木）

[質問者：5会派 5名]

（2）一般質問 11月26日（木）・11月27日（金）

[質問者：31名]

2．主な質問要旨等

別紙「令和2年第4回区議会定例会（代表・一般）における教育（文教）領域の主な質問・答弁の要旨」のとおり。

3．世田谷区のホームページにおける閲覧

区議会本会議における全ての質問及び答弁については、世田谷区ホームページ上の「世田谷区議会」の「議会中継」又は「会議録検索システム」にて閲覧可能です。

「会議録検索システム」における令和2年第4回定例会の内容については、2月中旬公開予定。

令和2年第4回区議会定例会(代表・一般)における教育(文教)領域の主な質問・答弁の要旨

<代表>

敬称略

| 項目 | 会派 | 質問者 | 答弁者 | 質問要旨 | 答弁要旨 |
|-----------------|-----|---------|--------|---|-----------------------------|
| 教育長が目指すオンライン教育 | 自民 | おぎの けんじ | 教育長 | オンライン学習の環境が整う3年度以降は、コロナ禍を踏まえた特色ある教育の展開に期待が高まる。教育長はオンライン教育をどう位置づけ何に取り組むのか。 | 従来型授業からの脱却と考え探究的な学習の実現を目指す。 |
| 全区立中における性教育の充実 | 公明 | 岡本 のぶ子 | 教育政策部長 | 性教育は生命の尊さを学び、障害やLGBTなどの多様性を認め合う機会となる。助産師など専門家による授業を全区立中で行え。 | オンラインの活用など全校実施に向け取り組む。 |
| オンラインを活用した教育の転換 | 立民社 | 藤井 まな | 教育長 | 児童生徒へ配付予定のタブレットを活用し教育の構造転換を図るべきだ。障害の有無や不登校を問わず参加できるオンライン授業を進め質の高い教育を実現せよ。 | ICT活用を教育の転換の追い風にすべく全力で取り組む。 |
| 主体的な学びを促す授業の実践 | あらた | 佐藤 美樹 | 教育政策部長 | ICT教育を進める上で子どもが主体的に何を学びたいかを考えさせる「教えない授業」の視点が重要だ。積極的に取り入れよ。 | 授業事例の共有などを通じて教員の能力向上を図る。 |
| タッチ・ザ・ワールドの見直し | あらた | 佐藤 美樹 | 教育長 | タッチ・ザ・ワールドの在り方を見直すべきだ。都が運営する施設に倣い、海外の生活を再現して英語を話す力を育む場とせよ。 | 今後の運営計画見直しの中で、充実に向けて取り組む。 |

<一般>

敬称略

| 項目 | 会派 | 質問者 | 答弁者 | 質問要旨 | 答弁要旨 |
|-----------------|-----|--------|--------|--|------------------------------|
| オンラインを活用した不登校対策 | 立民社 | 風間 ゆたか | 教育政策部長 | 熊本市では教育のオンライン化により不登校の子ども約半数が支援につながった。区が設置予定の不登校特例校でも誰もが参加できるオンラインを基本とせよ。 | タブレット導入を進め、不登校などの支援に最大限活用する。 |

< 一般 >

敬称略

| 項目 | 会派 | 質問者 | 答弁者 | 質問要旨 | 答弁要旨 |
|-----------------|-----|---------|---------------|---|-------------------------------|
| 自主性を育む生徒会サミット運営 | 立民社 | 風間 ゆたか | 教育長 教育政策部長 | 今後の教育は生徒の自主性や自立、自治を育むことが重要だ。生徒会サミットが中心となり、校則づくりをテーマに全生徒がオンラインで議論する取組を検討せよ。 | 運営やテーマを生徒会サミットメンバーや教員で検討する。 |
| 外国籍の子の就学調査は穴だらけ | 虹 | 上川 あや | 教育総務部長 | 区教委の外国籍児童への就学調査は義務教育対象者でないのをいいことにおざなりで、依然、三桁は未把握。電話調査や訪問調査を徹底し不就学ゼロを確認せよ。 | 回答がない全ての家庭への有効な確認手法を検討し実施する。 |
| ハラスメント防止は児童生徒にも | 虹 | 上川 あや | 教育政策部長 | 私の提案を受け区教委は、教職員間のハラスメント防止要綱に人種やLGBT等を追記したが、教員の児童生徒に対するハラスメント防止要綱にも同改正が必要だ。 | 早急に要綱改正し教員への啓発や研修の充実に向け取り組む。 |
| インクルーシブ教育の推進 | 立民社 | 桜井 純子 | 教育総務部長 | 区は教育計画の改定に際し、ICT活用などコロナ禍での変化を分析し生かすとともに障害の有無を問わず学び合うインクルーシブ教育の推進を明確に位置づけよ。 | インクルーシブ教育の推進など一層の教育施策の推進を図る。 |
| 子どもの個性を育む教育の充実 | 無所属 | 青空 こうじ | 教育政策部長 | 学業不振を理由とした子どもの自殺が増えている。学力習得に加え多様な個性を育み生きていくために区はどのようなプログラムや学習環境を設けているのか。 | 端末を配備し個人の興味関心に応じ学べる環境を整えていく。 |
| ICT支援員による支援体制強化 | 立民社 | 中山 みずほ | 教育政策部長 | 学校でのICT活用を支援するICT支援員が区立校90校に対し6名では支援が行き渡るとの疑問だ。支援員19名が授業支援も行う熊本市に倣い体制を強化せよ。 | 増員を早急に検討するなど効果的な学校支援に取り組む。 |
| 区立校のトイレ洋式化の推進 | 立民社 | いそだ 久美子 | 教育総務部長 | 区立校のトイレ洋式化率は62%で23区中ワースト2位だ。災害時に避難所として利用されることも踏まえ、工事費が安い便器交換手法の導入など早急に改修せよ。 | 工事の工夫などしながら洋式化率80%の早期実現に取り組む。 |
| 学校運営における校長の裁量権 | 立民社 | 羽田 圭二 | 教育長 | 特色ある学校づくりは校長による独自の判断も必要だが教員や保護者等の意見を無視して進めるべきではない。校長の裁量権について教育委員会の見解を示せ。 | 校長による適正な学校運営に向け、指導や助言をしていく。 |

< 一般 >

敬称略

| 項目 | 会派 | 質問者 | 答弁者 | 質問要旨 | 答弁要旨 |
|-----------------|-----|---------|--------|---|------------------------------|
| 生徒と指導員の良好な関係づくり | 自民 | 畠山 晋一 | 生涯学習部長 | コロナ禍で部活動が制限される中、外部指導員と生徒が信頼し合える環境が必要だ。アンケートなどを通じて、互いの思いや考えを共有できる取組を進めよ。 | 学校と連携し、アンケートの実施に向けて検討していく。 |
| 図書館改革の一層の推進 | 立民社 | 中塚 さちよ | 生涯学習部長 | 企業が指定管理者の武雄市立図書館は職員や民間の発想を生かし市民ニーズに応えている。区の図書館改革では職員の意欲を高めアイデアを生かす運営を目指せ。 | 職員のアイデアを柔軟に取り入れる仕組みなどを検討する。 |
| 児童生徒による清掃活動の現代化 | 都ファ | そのべ せいや | 教育総務部長 | 毎日・全員・15分の清掃に年50時間費やしている。ほうき・ちりとり等の前時代・不衛生な清掃を掃除機に換え、子どもたちの時間と清潔な教室を確保せよ。 | 清掃する場所などに応じ、掃除機などの活用を検討する。 |
| 子どもが清掃活動を行う意義 | 都ファ | そのべ せいや | 教育政策部長 | 学習指導要領の裏付けなく、既にロボットに代替されている清掃は現代の社会参画意識・働く意義の学びには適さないと考えるが、児童生徒へ意義を説明できるのか。 | 集団での役割や責任を持つことにつながると説明していく。 |
| 図書館への視覚支援デバイス導入 | 世田谷 | ひうち 優子 | 生涯学習部長 | 読みたい文章を指さすと自動音声を読み上げる視覚支援デバイス「オーカムマイリーダー」は、視覚障害者や高齢者の読書環境改善に役立つ。図書館に導入せよ。 | 先行導入している他自治体の情報を収集し調査研究を進める。 |
| 図書館ホームページの改善 | 世田谷 | ひうち 優子 | 生涯学習部長 | 図書館ホームページを見直し利便性を向上すべきだ。本の表紙画像の表示機能とページ前画面へ戻る機能を追加するとともに、タイムアウト時間延長も検討せよ。 | システム改修などの際に、利用者要望などを踏まえ検討する。 |
| 学校での配付プリントの電子化 | 世田谷 | ひうち 優子 | 教育政策部長 | 多くの保護者の方からの声を受け、さきの議会で保護者と教員双方の負担軽減のために提言した、児童への紙の配付プリントのオンライン化は進んだのか。 | 課題もあるが早期の導入に向け、積極的に検討を進めていく。 |
| 学校長の短期間での異動の改善 | 自民 | 宍戸 三郎 | 教育政策部長 | 学校長が1、2年で異動する状況で学校と地域が信頼関係を築けるのか疑問だ。地域における子どもの健全育成に影響が及ばないよう、都に改善を求めよ。 | 学校と地域が一体で教育活動を行えるよう、都に働きかける。 |

< 一般 >

敬称略

| 項目 | 会派 | 質問者 | 答弁者 | 質問要旨 | 答弁要旨 |
|----------------|----|-------|--------|---|------------------------------|
| 魅力ある教員の育成 | 自民 | 宍戸 三郎 | 教育政策部長 | 児童生徒が尊敬できる魅力的な先生と出会える環境づくりに力を注ぐべきだ。区が設置予定の教育総合センターの活用を含め教員育成にどのように取り組むのか。 | 人権配慮などの様々な課題に対応できる教員を育成していく。 |
| 地域貢献を実感できる職場体験 | 自民 | 宍戸 三郎 | 教育政策部長 | 区立中学生が行う職場体験には、町会活動への参加や消防団員との交流など、地域貢献の喜びを実感できる取組も大切だ。今後の方針について区を考えを示せ。 | キャリア教育として職業観を育めるよう、学校を支援する。 |